

前号に続いて、今月号も Crohn 病の特集である。それほど Crohn 病はわれわれの頭を悩ます、そして興味深い消化器疾患である。Crohn 病の形態的特徴として縦走潰瘍、数石像、非乾酪性肉芽腫などの所見が金科玉条とされてきたが、このような所見を有さない非定型的な本症が存在することが明らかになってきている。その1つが今回取り上げられた“アフタ様病変”が多発する Crohn 病である。このような非定型的な Crohn 病を1グループで21例も集積した八尾論文、そして多施設集計を行った樋渡論文には説得力があ

り、本号の核になっている。

八尾論文にも記載されているし、各主題症例にもみられるように、一口にアフタと言っても、その形態にかなりの差がある事実は興味深く、一気にゲラ刷り原稿を読破してしまった。今回の特集で、どうやら Crohn 病における“アフタ”の病態について、光明が見え始めたのではないだろうか。そして各地から集められた“非典型的 Crohn 病”とされている病変を眺めてみると、もう一度、本症の診断基準について考えなければならないと考えるのは私だけであろうか…？

胃と腸

6月号 (第29巻・第7号) 予告

発売予定 6月25日
定価 2,060円(税込)

主題／多発胃癌

序説	多発胃癌	林外科病院	高木 國夫
主 題	多発胃癌—病理学的立場から	都立駒込病院・病理	三上 哲夫・他
	多発早期胃癌の見逃し病巣の検討	九大・2病理	八尾 隆史・他
	多発胃癌—X線診断の立場から、特に微小癌を除く副病変の術前診断	鹿児島大・2内	美園 俊明・他
	多発胃癌—臨床診断の立場から	松山日赤病院・消	野見山 祐次・他
	多発早期胃癌—内視鏡的治療の立場から	癌研・内科	富松 久信・他
	早期胃癌に対する内視鏡的治療における多発癌の問題点	東京医大・4内	川口 実・他
	多発早期胃癌の臨床病理学的検討—外科的立場から	金沢大がん研・外科	磨伊 正義・他
	予後からみた多発胃癌	大阪成人病センター・外科	古河 洋・他
今月の症例	原発性空腸癌の1例	大阪巨大・2内	丸野 秀記・他
	Peutz-Jagher's 症候群の1例	北里大・消内	五十嵐正弘・他
研 究	胃原発悪性リンパ腫の肉眼形態分類と発育進展様式の関係	国立がんセンター・内科	石堂 達也・他
症 例	過形成形ポリープから発生したと考えられる隆起型早期胃癌の1例	浜松医大・1外	小林 利彦・他
	脊椎後彎症の患者にみられた広範な Barrett 食道と Barrett 食道遺瘍	福井県立病院・外科	細川 治・他

胃と腸 (第29巻 第6号)

編集 早期胃癌研究会

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5714

販売部直通 (03) 3817-5659

1994年5月25日発行(毎月25日発行)

1部定価2,060円(本体2,000円)(配送料124円)

年ぎめ予約購読料27,440円(本体26,641円)

(増刊号4,120円を含む13冊)(送料弊社負担)

FAX (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693

印刷所 永和印刷(株) ☎ (03) 3813-5001

広告取扱 医界弘報社 ☎ (03) 3814-5771

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1994, Printed in Japan.

• 本誌に掲載された著作物の複写・転載およびデータベースへの取り込みに関する許諾権は医学書院が保有しています。

• **R** <日本複写権センター委託出版物・特別扱い>

• 本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。本誌は日本複写権センターの特別委託出版物です。複写される場合は、そのつど事前に日本複写権センター(03-3269-5784)の許諾を得てください。

(担当) 竹中・小松原・江口・長谷川